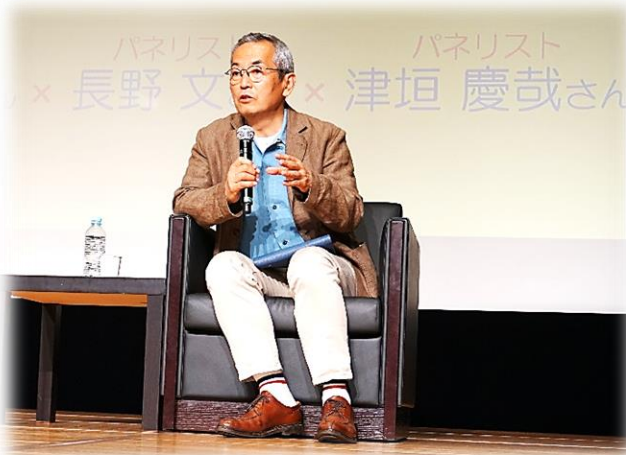


# 九州教区事務通信

2022年6月号

— <宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ> —

🌸 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう



ゲスト 土井善晴さん (料理研究家)



パネルディスカッションの様子



会場ロビーの様子



書籍販売



会場ホール内の様子

## 九州親鸞フォーラムを開催

2022年5月29日(日)、エルガーラホール(福岡市中央区天神)を会場に、第5回九州親鸞フォーラムを開催した。

新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ開催となった今回は、2年ぶりの会場参加可型で、福岡都市圏に在住の一般の方を中心とした約200名が参加した。

ゲストに土井善晴さん(料理研究家)、パネリストとして長野文さん(長崎組正法寺坊守)／津垣慶哉さん(田川組正應寺住職)、コーディネーターとして吉元暁信さん(九州大谷短期大学教授)をお迎えし、「食事・仏事・大事～食事と仏事の交わるどころ～」をテーマに、食事と仏事の交わりから一体何が生まれてくるのかということ、会場参加者の質問も交えながら、共に考えていくシンポジウムとなった。

土井善晴さんからは、食事を取り巻く環境、そして、料理をとおして見えてくること、問われてくることのお話をいただき、具体的なお話をとおして、料理することの根源的な意味、何が本当の豊かさなのかを考えさせられる提言をいただいた。

そして、パネルディスカッションでは、土井善晴さんの提言をもとに対話が行われ、食事も仏事も人間関係を紡いで行くものであり、その場が開かれることで常に新しい自分と出遇っていく営み、人間としての大事であることが語られた。

**2021 年度宗派経常費御依頼収納状況について**

2021 年度宗派経常費御依頼につきまして、依然厳しい社会状況が続く中においてご完納並びに超過進納いただきましたこと衷心より御礼申し上げます。

つきましては、5月31日現在の九州教区内の収納状況及び超過進納状況を、以下のとおりお知らせいたします。

今後も厳しい社会状況が続くことが予想されますが、**6月30日(木)が年度末の締切日**となりますので、十分ご留意のうえ、お早めにご完納賜りますようお願い申し上げます。

**【九州教区宗派経常費御依頼収納状況 (2022 年 5 月 31 日現在)】**

教区御依頼額	512,153,000 円	超過進納額	12,889,480 円
収 納 額	463,088,230 円	超過完納寺院	90 カ寺
収 納 率	90.4%		
完納寺院数	697 カ寺		

**【同朋会員志還付金について】**

お振込みいただきました同朋会員志金につきまして、寺院口座（既届出済の場合）もしくは現金書留にて還付させていただきますので、ご了承のほどよろしく願いいたします。

また、既届出口座を変更される場合は教務所までご連絡をお願いいたします。

**宗祖親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年 記念衣体について**

慶讃懇志金募財期間中に限り、記念衣体を賞典に設定しています。住職就任またはご退任、寺族子弟の得度式受式、仏前結婚といった節目の記念として、どのシーンにも映える衣体となっていますので、是非、記念衣体の申請をご検討くださいますようお願い申し上げます。

詳細につきましては、『真宗』6月号の最終頁に、各種衣体の見本が掲載されてますので、是非ご覧ください。

記念衣体申請期間 ～2023 年 8 月 31 日 申請〆切

**青少幼年部門 寺院活動における青少幼年教化活動の実態調査について**

昨秋実施の、「寺院活動における青少幼年教化活動の実態調査」にご協力いただきありがとうございました。

本調査結果につきまして、真宗教化センター寺院活性化支援室が分析作業を行い、分析結果報告を下記のとおりオンラインで実施しますので、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

【日 時】 2022 年 6 月 22 日 (水) 13:30～15:30

【ZOOM】 ミーティング ID: 844 8390 2600 パスコード: 574054

※ZOOM には、13:15 から、右記 QR コードより順次入室いただけます。

※お名前は「【九州教区】組名 寺院名」に変更して入出いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

**教区メール配信終了と公式 LINE 登録のお願い**

同通信 4 月号で既報のとおり、下記期日をもって教区メール配信を終了し、教区公式 LINE を教区内への情報発信ツールとして運用してまいります。教区公式 LINE 未登録の皆様方におかれましては、是非ともお友達登録いただきますようお願い申し上げます。

■教区メール配信終了日 2022 年 6 月 30 日 (木)

九州教区公式 LINE 発信内容

- (1) 教化情報の発信 (2) 緊急連絡 (災害等)  
(3) 教区内慶弔 (4) その他

友達追加 LINE 内検索 @995xfale

お友達登録はこちらから👉



(4) 宇佐組 徳臺寺 同朋の会結成 50 年表彰

「戦後間もなく少ないお米を集め、地域の方々が寄り集まって御齋をいただき、お勤めをしていた」と当事幼子ながら記憶のある御門徒さんが語ってくださった。

山々に囲まれた宇佐市院内町にある徳臺寺において、同朋の会結成 50 年表彰が行われた。会は「二・八の会」として現在まで宗祖親鸞聖人の御命日を機縁とし、脈々と相続されてる。

開会にあたり、中根教務所長より『『圓滿徳號勸專稱』(正信偈・勤行集 24 頁)とありますように南無阿弥陀仏の名(名号)の徳を先輩方が大切に頂かれてきたからこそ同朋会が今日まで繋がってきたのです。』と名号を頂いてこられた先輩方の姿と徳臺寺のあゆみを憶い挨拶した。

次に、大見政弘門徒総代長が「50 年の表彰を皆さんで頂けて嬉しいです。」と話され、目の前にいる同朋だけでなく、亡き先達の姿に思いを馳せ、「前に生まれん者」の導きを感じさせるお話をした。

最後に住職の法話で、「50 年の歴史がある事実は、私達の思いを超えて、先代達の菩提心が作ったのです。それはすべて一人の念仏者を生み出すためなのです。」と話し、そしてこの事実を「これからも一人の念仏者誕生のため、皆様の菩提心を信じて同朋の会を相続していきたい」と話された。



徳臺寺同朋の会結成 50 年記念撮影

会に参加し、私のおもいを超えた南無阿弥陀仏が一人ひとりに確かに相続されておられるのだと感じた。各寺・各地域のお念仏にこれからも共にたずねさせて頂きたいと思う。

(九州教区教化相談員 此松純劫)

**住職・教会主管者任命** ※寺院・教会番号順

- (2022 年 4 月 28 日付) ■浮羽組 妙福寺 延壽寺知晃 様  
 ■浮羽組 佛行寺 淺野 智成 様  
 ■浮羽組 光教寺 清原 宗 様  
 ■八女組 淨光寺 野口 有慶 様  
 ■熊本西組 淨照寺 鷺尾 祐照 様
- (2022 年 5 月 28 日付) ■豊前中津組 長仁寺 江本 真人 様  
 ■日田玖珠組 專念寺 平野 孝好 様  
 ■日田玖珠組 西玄寺 三澤 教悟 様  
 ■三潴組 則善寺 大城 史雄 様

**敬 弔**

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します

松尾 法劔 様	福岡組	明專寺	前住職	5 月 10 日	寂	91 歳
三角 薫 様	長崎組	妙行寺	坊守	5 月 21 日	寂	75 歳
奥村 蓮子 様	長崎組	勝廓寺	前坊守	5 月 28 日	寂	94 歳
高橋 弘依 様	三井東組	廣琳寺	前住職	5 月 29 日	寂	93 歳

(2022 年 4 月 28 日から 5 月 31 日まで)



## 九州教区教化テーマ「生活を聞法の場の一真宗門徒として」

教区内行事予定表（6月）						
日 時			内 容	会 場	講 師	
6 月	2	木	16：00～	親鸞聖人に学ぶ会	鹿児島別院	荒川雄真
	6日（月）～8日（水）			長崎エリア秋安居	佐世保別院	加来雄之
	8	水	10：30～	大分東組（大分市ブロック）別院奉仕研修	四日市別院	室長大應
			14：00～	第5回大谷会館声明学習会	大谷会館	井波昭信
	9	木	14：00～	非核非戦定例法要	長崎教会	観山尚之
	9日（木）～10日（金）			鹿児島エリア若手僧侶研修会	鹿児島別院	-
	13	月	13：00～	先任職御命日法座	佐世保別院	別院職員
	14	火	13：30～	第10回定例聞法会	大谷会館	菊池晃文 増田英文
	15	水	10：00～	会館奉仕研修（山門西組）	大谷会館	蒲池成信
	18	日	9：00～	長崎教会同朋の集い	長崎教会	中川唯真
			15：00～	鹿児島別院子ども会	鹿児島別院	-
	25	土	17：00～	歎異抄に聞く会	鹿児島別院	太田智哉
	28	火	7：00～	宗祖御命日晨朝兼日中・朝粥会	鹿児島別院	別院職員
			10：00～	四日市別院ご命日のつどい	四日市別院	藤村聖輝
13：00～			宗祖御命日定例法座兼非核非戦法要	佐世保別院	別院職員	
13：30～			長崎教会御命日定例法座	長崎教会	麻生顕誓 牛島達郎	
14：00～			御命日同朋会	伊敷支院	加来裕徳	
7 月	2	土	14：00～	蠟扇忌	鹿児島別院	小田耕治
			16：00～	親鸞聖人に学ぶ会	鹿児島別院	荒川雄真
	9	土	14：00～	非核非戦定例法要	長崎教会	服部忍
	12	火	10：00～	会館奉仕研修（山門東組）	大谷会館	-
	14	木	18：30～	大谷会館聖典講座	大谷会館	青木玲

**【予告】 齊藤法顕前参務退任 兼 古賀堅志参務、長峯顕教参務入局激励会・  
教区互礼会及び九州教務所長歓送迎会**

期 日：2022年10月7日（金）17:00 から / 会 場：久留米市内のホテル（予定）

事務通信6月号 同封物

- ①アフターケア通信5月号・6月号      ②教区坊守会研修会案内チラシ  
③大谷会館「聖典講座」開催案内チラシ

<お問い合わせ先>

**真宗大谷派 九州教務所** TEL.0942-32-3056 / FAX.0942-39-5077

MAIL. [kyushu@higashihonganji.or.jp](mailto:kyushu@higashihonganji.or.jp)

九州教区 HP <http://otaniha-kyushu.com/>



## 同朋の会活動報告

### (1) 鹿児島組 聖徳寺 同朋の会結成 30 年・50 年表彰

2022 年 3 月 10 日（木）、穏やかな春の日差しが降り注ぐ中、晴れて聖徳寺同朋の会 30・50 周年の表彰が行われた。

聖徳寺同朋の会は、1963 年に結成されて以降、時代を取り巻くあらゆる変化と共に、聖徳寺の方々と歩んでこられた。毎月 10 日に寺院の清掃を行ったあと、同朋の会を開いているとのこと。今回は婦人会の方も多く参詣しており、多くのご門徒と共に同朋の会 30・50 周年の記念を祝った。

嶽小原晃住職は、同朋の会の冒頭で、世界情勢が不安定なことに触れながら、「このような状態にある中で、ここにこうして同朋の会 30・50 周年を迎えられることに縁を感じている」とお話された。

また中根教務所長の挨拶では、「先達あってのこの聖徳寺同朋の会です。次の 30・50 年の一歩を共に歩んでいきましょう。」と御礼をお伝えした。

私自身も引き続き、多くの寺院の同朋の会に訪問し、ご門徒と共に、聴聞していきたいと思う。  
(九州教区教化相談員 寺田桃花)



聖徳寺同朋の会結成 30 年・50 年記念撮影



参詣された聖徳寺ご門徒の方々

### (2) 日田玖珠組 願正寺 同朋の会結成 30 年表彰

「願正寺同朋の会」は、1973（昭和 48）年結成後、様々な世代の方と関わりを持ちながら、現在まで活動している。今回は、同朋の会結成 30 年にあたり表彰を行うべく、同朋の会へお伺いした。

願正寺は、前住職の御命日を起点に、毎月 13 日に同朋の会を開催している。様々な対象別の会がある中で、今回は婦人会学習会への参加者が主であった。南木仁住職は、先代からの願いを引き継ぎ、今でも大事に親鸞聖人の教えを聞く場を開催されている。

住職はこれからの展望について「ご門徒宅へ参加案内を出す、家庭の代表者がお一人出てくる。そうでなく、たくさんの方に御参りに来ていただきたいので、夫婦で是非参詣いただけるようなことをこれから考えていきたい。現在、子ども会は休会しているが、過去に参加されていた方が今お寺に御参りに来てくれている。これからは、世代を縦と横、様々な方々が出会うような場を創造したい。そして、住職やお寺の者と仲良くなるということだけでなく、親鸞聖人と仲良くなっていたきたい」と語られた。

(九州教区駐在教導 甲斐恭平)



願正寺同朋の会結成 30 年記念撮影



同朋の会の様子

### (3) 鹿児島県甌島巡回法座・鹿児島組 大照寺 同朋の会結成報告

2022年4月24日(日)～26日(火)にかけて、「甌島巡回法座」が開催された。当初は2020年に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い延期となり、今回、甌島寺院の協力もあり、ようやく開催に至った。

甌島は、上甌・中甌・下甌3島で形成され、昨年には全島を結ぶ橋が完成し、島同士の交流が増えたが、その反面、過疎化や少子高齢化等により、4年前までは6カ寺あった大谷派寺院も、今では4カ寺となり、聞法する場の減少が顕著となっている。

そこで、本山・企画調整局の協力のもと、巡回法座を企画し、甌島で聞法の間が創造されていくことを願い開催された。

講師には、鳴一志氏(鹿児島組正縁寺住職)に出向頂き、講題「甌島の源」のもと、3日間で全寺院(4カ寺)を巡回していただいた。

当初は、どれほどの参詣があるか不安がありましたが、4カ寺で約80名の参詣者があり、その中でも、下甌島瀬々野浦地区にある西浄寺では、50人ほどしか住んでいない集落にも関かわらず、約40名の参詣があった。

鳴氏からは、甌島の『郷土史』の中に記載されていた内容をもとに、「かくれ念仏時代の明治9年までの300有余年間は、鰯漁を生業としていた先達が、“自分たちも鰯と同じ弱い人間、この最果ての地で生まれ命をおえていく身、地獄に落ちて行かざるを得ない”と考えていた方々がおられ、それでも先達は『三誓偈』を大切に勤め、そこに書かれている三つ誓願に救われ、堂々と生きていかれた方々がおられた。」と、その事実を法話の中で伝えていただいた。

参加されたご門徒からは、「今までこのような法話を聞く機会がなかった。住職、これからはもっと法話をしてほしい。」「甌島まで来て頂き本当にうれしい。ありがとう。」などの声を多く聞こえてきた。

2日目には、同朋の会を結成された下甌島の大照寺へ、中根教務所長から、本山からの上山旗と提灯が手交された。

「これを持って一度本山というところに行ってみよう」と、ご門徒からの声があり、また、代務者の熊本氏からは「これから毎月28日は同朋会を開催して少数でも続けていく」と、頼もしい言葉を述べられた。

鹿児島組には甌島以外にも、奄美大島・種子島・屋久島・獅子島があり、沖縄県にも1ヶ寺、当派寺院があります。本山・教区・組と連携し、あらゆる方法で各地域において聞法の間を創造していきます。

是非、鹿児島・宮崎組内で研修会など事業を検討頂き、かくれ念仏の歴史や離島に生きる真宗門徒の姿を目にしてください。

(九州教区駐在教導 玉井和導)



甌島巡回法座の様子



大照寺同朋の会結成記念撮影